

2. 指標設定

成果指標	指標名	受入れ体制の充実		目標年度	指標の設定理由				
	数値	5ヶ所			H26	豊後大野市きらきら子どもプランにおいて、児童の健全育成に向け児童館事業を推進することになっている			
活動指標	指標	a	施設情報の発信・周知	b	児童の居場所づくり	c	相談業務の充実	d	保護者相互の交流
	数値	目標	随時	目標	5ヶ所	目標	随時	目標	随時

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
受入れ体制の充実	ヶ所	5ヶ所	5ヶ所	5ヶ所
		100.0%	100.0%	100.0%

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 施設情報の発信・周知		—	—	—
		—	—	—
b 児童の居場所づくり	ヶ所	5ヶ所	5ヶ所	5ヶ所
		100.0%	100.0%	100.0%
c 相談業務の充実		—	—	—
		—	—	—
d 保護者相互の交流		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
児童館のあり方(指定管理、直営)
対応(改善点等)
現況の確保

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

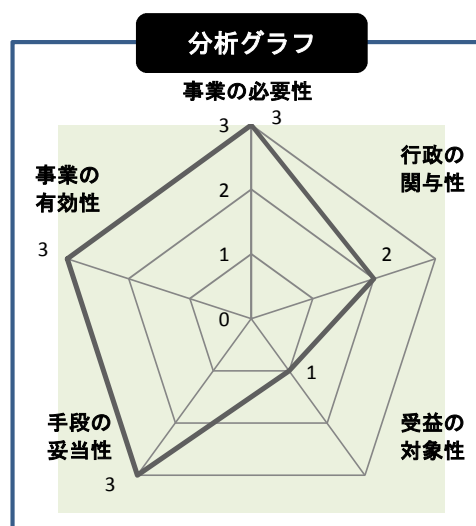
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		17,649	23,141	20,863	21,686
うち経常経費		16,588	21,259	19,131	21,686
財源内訳	国費				
	県費	572	884	479	266
	市債				
	その他			100	
	一般財源	17,077	22,257	20,284	21,420
うち経常		16,016	20,375	18,552	21,420
事業費に係る人件費		1,910	1,920	1,971	1,935

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
単独事業であり、市の財政負担も大きい。児童の健全育成の観点から必要である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 児童健全育成推進のため必要な事業である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 今後指定管理等の導入が考えられる
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 児童・乳幼児及びその保護者に限られているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 児童の健全な居場所作りを促進するため、情報の発信周知及び相談業務の実施等は適切であると判断できる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標に對し100%の達成率であり、有効性は高いと判断できる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	経費の削減に努めるとともに、三重児童館の在り方について検討すること